

頭部のかゆみに対する短期ステロイド使用後、1年半で徐々に軽減した成人アトピーの経過 (25 歳男性)

症例 ID：001-20-YK5 | 記録日：2004 年 9 月 11 日

1. 診断・治療前経過

高校生頃から頭部にかゆみが出て、掻くとフケ様の皮膚片が爪にたまりました。医療機関で脂漏性湿疹と診断され、ステロイド外用薬を使用しました。ステロイドによる明確な変化は感じられず、半年未満で中止しました。その後インターネットで松本医院を知り、受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	頭部の症状にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	半年未満です。
中止時期	松本医院受診前です。
来院前／後	来院前に短期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
高校生頃	発症	頭部にかゆみとフケ様の落屑が出ました。
その後	外用治療	脂漏性湿疹と診断され、ステロイドを半年未満使用しました。
松本医院受診	治療開始	ステロイド中止後に治療を開始しました。
開始約 1 年半	長期経過	症状が徐々に軽くなり、改善を実感するようになりました。

4. ピーク時期

ピーク時期は明確ではありませんが、高校生頃から頭部のかゆみと落屑が続き、外用治療でも十分な変化を感じられなかった時期です。

5. 困りごと

- 頭部のかゆみとフケ様の落屑が続きました。
- ステロイドを使用しても明確な変化を感じられませんでした。

6. 経過のまとめ

頭部のかゆみと落屑に対する短期のステロイド使用後、松本医院で治療を開始しました。治療開始から約 1 年半後には、症状が徐々に軽くなっていることを実感されていました。

本ページは患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の結果を保証しません。